

令和6年5月1日

難聴児在籍校長 様

兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校  
校 長 足立 昭吾

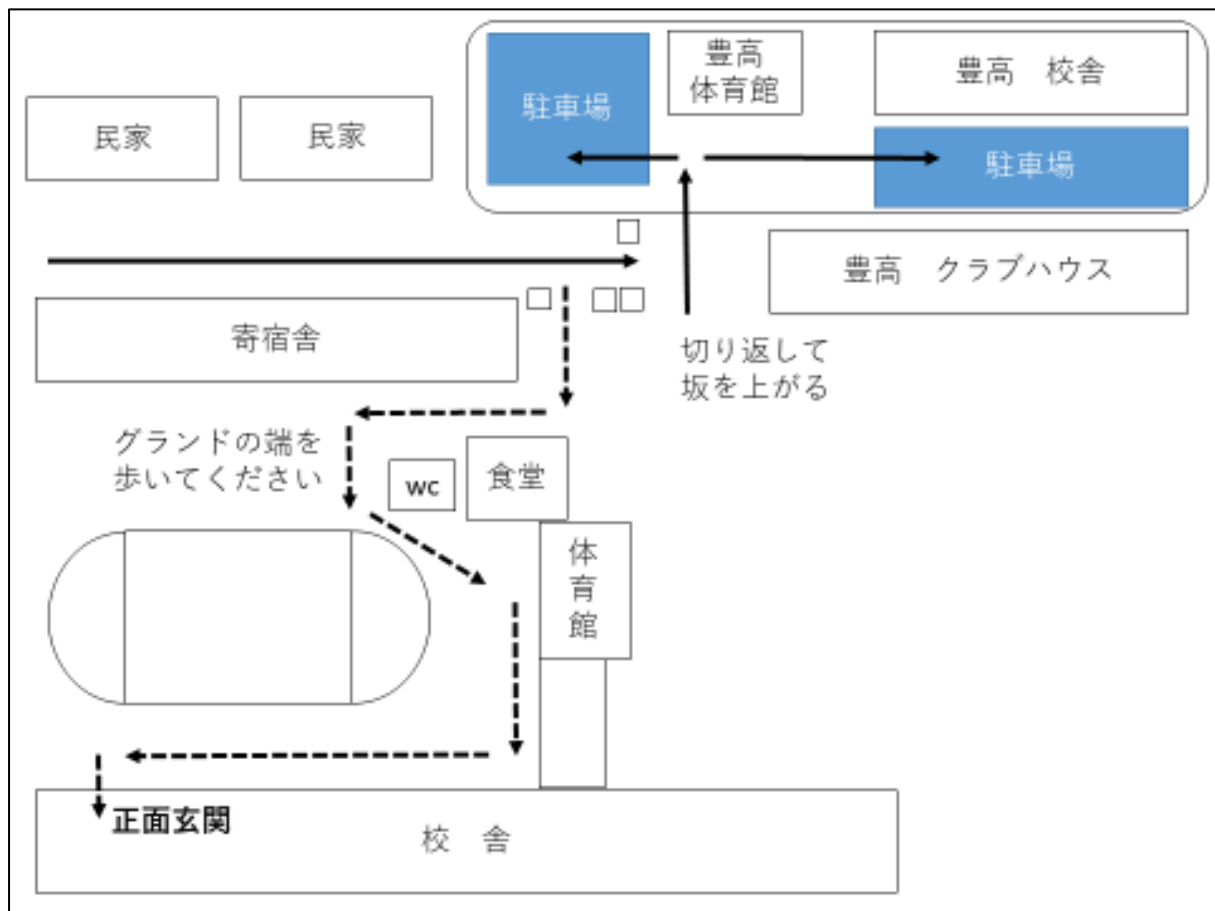
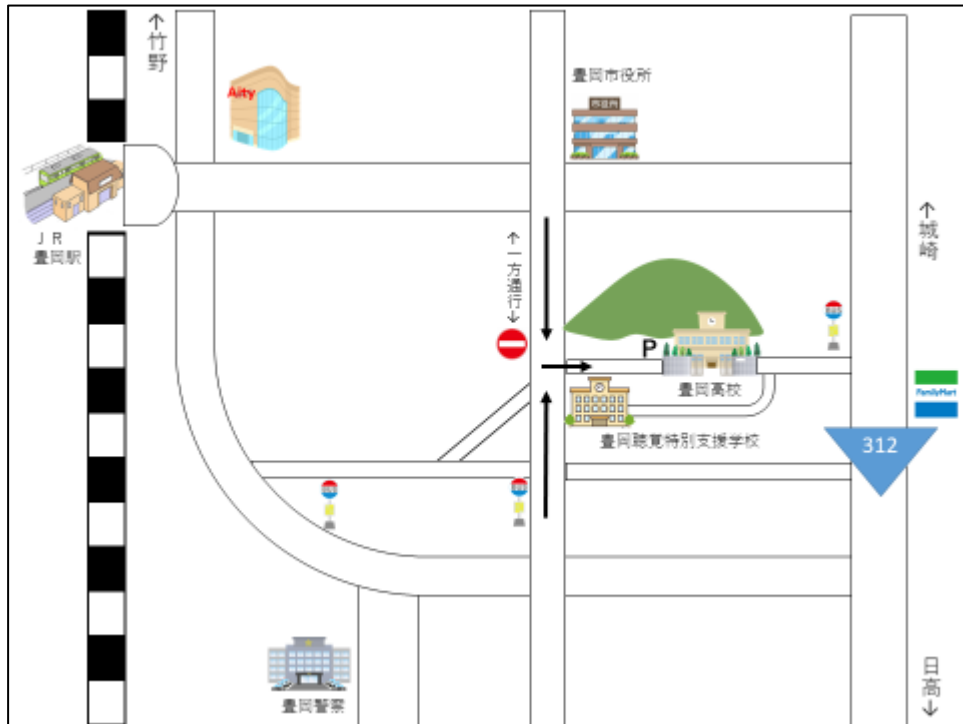
令和6年度 但馬地区難聴児担当者連絡会の開催について（依頼）

薫風の候、貴職におかれましてはますますご清祥のことと存じます。  
平素は、特別支援教育の推進に格別のご理解とご支援をたまわり、厚くお礼申し上げます。  
さて、標記の連絡会を下記のとおり開催いたします。  
つきましては、貴校担当教員の出席に格別のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 記

- 1 目 的
    - ・難聴児支援についての基礎的な知識を学ぶ。
    - ・日頃の悩みや指導方法等について情報交換を行い日々の指導に活かす。
  - 2 対 象 補聴器または人工内耳を装用する難聴児の担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター等（小・中・高・特別支援学校）
  - 3 日 時 令和6年6月26日（水）14：00～16：30
  - 4 場 所 兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校（豊岡市三坂町2番9号）
  - 5 日 程
    - 受 付 13：45～ 事務室前
    - 開 会 14：00～ 学校長挨拶、日程説明、本校の難聴児支援紹介 等
    - 研 修 14：05～ 研修「難聴児の理解」
    - 15：00～ 休憩・移動
    - 15：15～ 情報交換（グループに分かれて）
    - 閉 会 16：20～ アンケート記入、諸連絡
  - 6 申 込 別紙出欠票に記入の上、FAXまたはメールで送信してください。  
\*欠席の場合も送信ください。                      め切 令和4年6月7日（金）
- 兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校 豊岡聴覚支援センター（長谷川）  
TEL 0796-22-2114      FAX 0796-24-5216  
E-mail [toyooka-shn-su@hyogo-c.ed.jp](mailto:toyooka-shn-su@hyogo-c.ed.jp)  
まれに、FAXの受理に不備があります。FAXを受理したらこちらからお電話します。電話がない場合は、ご一報ください。
- 7 その他
    - ・各自名札をお持ちください。
    - ・当日は、県立豊岡高等学校を駐車場としてご利用ください。
    - ・出席者が10人を大幅に超えた場合、参加者を各校お一人に限定させていただく場合があります。

## 駐車場について



○誘導係の指示に従って、駐車してください。

○裏門から入り、グラウンドの端を通して、正面玄関からお入りください。

## FAX 送信票

送信先：兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校 豊岡聴覚支援センター 長谷川 宛

FAX 0796-24-5216 (送信票は不要です)

FAX 送信後、本校からの電話がない場合はご一報ください。

E-mail [toyooka-shn-su@hyogo-c.ed.jp](mailto:toyooka-shn-su@hyogo-c.ed.jp)

×切 令和6年6月7日(金)

令和6年度 但馬地区難聴児担当者連絡会 6/26 出欠票

- 1 所属校 ( )  
TEL ( ) / FAX ( )  
E-mail ( )
- 2 連絡会に 出席します ( ) 欠席します ( )  
出席の場合…駐車場の希望 ( 有 ・ 無 ) 駐車台数 ( ) 台  
※複数で参加の場合できるだけ乗り合わせをお願いします。
- 3 参加者名 (担当は○をつけてください)

	お名前	担 当
		担任 ( 通常学級 交流学級 難聴学級 特別支援学校 ) 特別支援教育コーディネーター 養護教諭
		担任 ( 通常学級 交流学級 難聴学級 特別支援学校 ) 特別支援教育コーディネーター 養護教諭

- 4 在籍校での取り組み (欠席の場合でもご記入ください)
- (1) 該当する欄に○をつけてください。(複数回答可)
- a ( ) 見て分かる手立てを工夫している
- b ( ) 雑音を減らす工夫をしている
- c ( ) 静かに授業を行う工夫をしている
- d ( ) 国・英・音・体などの授業やテストで工夫をしている
- e ( ) 分かりやすい話し方を心がけている
- f ( ) 座席の配慮をしている
- その他 ( )
- (2) 該当の難聴児について
- a 装用の様子 《 両耳補聴器 片耳補聴器 (右・左) 人工内耳 》  
《 常时装用 場面装用 》
- b 指導上困っていることやご質問等ありましたら、自由にご記入ください。

( )